

昭和の地名をたずねて(6)
永井 地形に関わるか

昭和村永井は利根沼田の最南端に位置し、渋川市(旧赤城村)と境界を接している。利根川支流の一級河川永井川に沿って位置し、倭名類聚抄にも名前が載るほど古くから開かれた集落である。

この「ナガイ」や「ナカイ」といった地名は県内各地の道筋に多く存在する。長井(旧倉淵村、旧赤城村)、永井(旧新治村、昭和村)、古永井(嬭恋村)、中居(嬭恋村)などがあげられる。これらに共通している特徴は、街道が峠に差し掛かる手前に立地している。おそらく「イ」は寄居など城のあるところを指す「居」と関係があるかと思う。「坂の途中の村」といった立地に「ナガイ」や「ナカイ」の地名が付けられたのであろう。

三国峠沿いは永井、萩生峠は長井、鳥居峠には古永井などがあり、当村の永井地域には沼田街道や長井坂城もあり関連するのではないかと思う。

そして、永井集落は川額、入原、永井の三組の大字川額として、時代の変遷に伴い、はじめは幕府領、延宝八年(一六八〇)

安中藩領、元禄六年(一六九三)幕府領、同十二年から旗本村越領に属した。明治に入り前橋藩、熊谷県や群馬県を経て、同十一年北勢多郡に所属する。同十二年に久呂保村、同三十三年に昭和村となる。

この永井地域には、県指定の長井坂城があり、沼田の真田氏と小田原北条氏によって争奪された。また、越後の上杉謙信が厩橋(前橋)城を攻める際、立ち寄ったといわれている。

これ以外にも、利根郡で最初の永井沢発電所。旧前橋藩主松平家により、代参が使わされた箱根神社。村指定文化財の太々神楽。円乗院の宝篋印塔。関越高速道路の中で最も高い橋脚を持つ永井川橋など、多くの文化財を残し、活気に呈している。

参考 群馬歴史散歩等



箱根神社に奉納される太々神楽

昭和村ボランティアガイドの会

会長 倉澤 俊雄



地域包括支援センターだより

9月は「世界アルツハイマー月間」

認知症のことで困ったら…

地域に暮らす認知症の方が安心して生活するために利用できる福祉サービスがあります。

認知症初期集中支援推進事業

認知症の専門医や看護師などが自宅へ訪問し、生活の様子や認知症についての困りごとを伺い支援します。

- ◆対象者 認知症が疑われる40歳以上の方
認知症の治療を受けていない(中断している)方
認知症の症状が強く対応に困っている方 など
- ◆費用 無料
- ◆問合せ 地域包括支援センター

認知症高齢者等事前登録制度

身体的特徴や緊急連絡先・顔写真などを事前に登録しておく制度です。行方不明になった場合、警察、村や事業所が連携して早期発見を目指します。保護静脈認証システムを活用し、身元確認も行えます。

- ◆対象者 65歳以上の方
- ◆費用 無料
- ◆問合せ 地域包括支援センター

認知症徘徊探知機のレンタル

行方が分からなくなった場合に、位置情報を確認できる機器を貸し出します。

- ◆対象者 おおむね65歳以上の認知症の方
- ◆費用 所得に応じて変わります
- ◆問合せ 健康福祉課 福祉係 ☎25-3285

地域包括支援センターは、地域の高齢者のための総合相談窓口です。必要に応じて、ご自宅などへの訪問も行っていますので、心配事や悩み事がありましたらお気軽にご相談ください。



問合せ 地域包括支援センター ☎30-2121

